

## 令和元年5月 報道機関との定例懇談会 要旨

### □ 情報提供項目

久慈市消防団新採用職員入団研修辞令交付式、クライペダ市・久慈市姉妹都市締結30周年記念親善使節団派遣事業、久慈・ベートーヴェン交響曲連戦演奏会 vol. 3「名作の森～運命&田園～」、第4回久慈あまちゃんマラソン大会について市長が説明したほか、5月の行事予定、イベント情報などについて報道機関にお知らせしました。

### □ 記者との質疑応答

記者：あまちゃんマラソン大会の申し込み状況は。

回答：現在までにランネット経由から、116件の申し込みがある。

記者：10連休は市内の観光施設が賑わったと思うが、市内観光施設の入れ込み状況は。

回答：速報値になるが、入れ込み数は、総数で102,692人となり、前年度66,144人から5割増し以上の伸びとなった。後ほど、市内公立観光施設入れ込み数の資料を提供する。

琥珀発掘また化石発掘体験の参加人数が増えた。にっぽん丸の寄港もあり、イベントが盛り沢山でまちが賑わったと感じている。

記者：化石が話題となったが、今後の市の支援策、盛り上げ策について伺いたい。

回答：県と連携して、ジオパークの再認定に向けてと併せて恐竜のまち久慈に力を入れていきたい。恐竜の化石しかもティラノサウルスが発掘され、全国的に注目を浴びたのが、10連休の人出につながった。さらにアピールを続けていきたい。

早稲田大学の平山教授からは8月に集中発掘をすると伺っている。三鉄で恐竜列車のイベント開催の提案もいただいている。あまちゃんのまちほか、恐竜のまちとしてのPRの検討を始めている。

久慈の発掘箇所は地質が柔らかく、専門家でなくても挑戦できると聞いている。

記者：今年度は漁船の誘致で新たに訪問する漁港はあるか。

回答：昨年度より多くの漁港を訪問し、誘致実績を増やしていきたい。久慈港の受け入れ態勢がしっかりされていれば、漁船同士の情報交換もされるようなので、多く誘致できるようにしたい。

記者：令和に改元された5月1日の久慈市で受け付けた婚姻届の件数は。

回答：12組の届出があったと聞いている。

記者：12組は、件数として多いのか。

回答：市の窓口では年間120件程度を受け付けるので多いと思われる。